

令和元年度(2019年度)

事業報告書

社会福祉法人 夢の郷

社会福祉法人 夢の郷

基本理念

1. 人権を守り主体性の尊重に努めます
2. 地域で暮らすための環境整備に努めます
3. 安心と安全の保障に努めます

運営方針

1. 利用者が選択できるメニュー（ハード・ソフト面）を提供します
2. 利用者の生活を見守り柔軟に対応します
3. 利用者主体の事業を推進します

夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせるよう生活支援を行います

	目 次	ページ
1	はじめに(令和元年度を振りかえって)	1～4
2	事業案内 社会福祉法人夢の郷	5～6
3	行事等実施報告	7
4	実習・ボランティア・介護体験等実習 受入報告	8
5	研修委員会報告	9～12
6	苦情解決委員会	13～15
7	危機管理委員会	16～20
8	広報委員会報告	21
9	給食委員会報告	22
10	協力医療機関受入結果報告	23～24
11	各事業所報告	
1	法人本部	25～27
2	朝海ハイム	28～31
	・宿泊型自立訓練事業 ・生活介護事業	
3	クローバーハウス	32～33
	・就労継続支援B型事業	
4	いすず工房	34～35
	・就労継続支援B型事業 ・生活介護事業	
5	グループホーム夢の郷 (はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘)	36～37
	・共同生活援助事業	
6	あすか	38～39
	・日中サービス支援型共同生活援助事業	
7	アンダンテ	40～41
	・地域生活支援事業(日中一時支援事業) ・特定相談事業	
8	津市がい者相談支援センター・サテライト事業	42
9	工賃向上報告書	43
	・クローバーハウス	
	・いすず工房	44

令和元年度をふりかえって

社会福祉法人「夢の郷」は創立以来20年が経過しました。精神障がい者に対する福祉施策も年々充実し、他の障がい者福祉サービスに比べても余りひけを取らない程にまで改正されてきました。

しかし、社会の精神障がい者に対する理解はまだまだ十分とは言えないところがあります。また、一人ひとりの生活視点から見ると、福祉サービスと医療の連携もまだ課題が多くあります。

夢の郷の立地する当城山地区は、長い期間にわたる県立精神病院の活動実績があり住民の方々の精神障がい者に対する理解は他に比し格段に進んでいるところがあります。その意味では「夢の郷」は非常に恵まれた立地条件にあると言えます。それでも真に理解されているとは言えないところがあり、地域とともに活動しその中で理解をより一層深めていく取組が大切であると考えています。このため、他の福祉施設に先んじて多岐の分野において先駆的な取り組みを積極的に進め、地域での「当たり前の暮らし」の実現に努めてきました。

21世紀も20年目を迎え、国際化、IT化、雇用制度の変化、超高齢化社会・少子化・家族形態の変化等、急激に社会状況が変化し、それらに伴う新たな社会問題や課題が現れてきています。このような中で、様々な課題への適応が難しく日常生活にストレスを溜め生きずらさを感じ、取り残されている人々がいます。このことは津市障がい者福祉計画調査の中で、精神障がい者手帳の交付者が急激に伸びていることにも反映されています。この時代、社会から期待される障がい福祉サービスには多くのものがあります。果たして夢の郷は、その時代に即した活動やサービスを提供できているのか、また、偏見と差別の目に見られがちな精神障がい者への理解を求める啓発を進めてきたのか、暮らしの自立支援に向けてどのような支援が出来たのか等を検討すべきです。

昨今「8050問題」が顕在化していますが、これは主に50代の前後の引きこもりの子供を80代前後の親が養い、生活の困窮や家族の社会的孤立、病気や介護問題で親子共倒れになるリスク等の問題が指摘されています。引きこもり当事者及び家族は社会的に孤立状態にあり公的支援の取組はまだ進んでいません。今後は、夢の郷もこのような分野でも一定の役割りを担わなければならないと考えています。

津市障がい者相談支援センターサテライト事業を単年度契約で受託しました。その活動実績を見ると、限られた方からの毎日頻繁な電話が殆どで、解決できずに傾聴のみに終わりました。他の方からの相談については、障がい福祉サービスに繋いだり不安の解消であったり、一定の成果が得られたと思います。その限られた方には、他

の相談相手、機関が多くあり、特に問題もないことを確認した上で、契約を終了とさせて頂きました。

夢の郷南側の隣設県有地（960 m²）については、将来構想の実現に必要な不可欠な土地であることから令和元年度社会福祉充実計画で実施するために財源の予算化や入札準備をしてきました。しかし、残念ながら元年度は県の売却方針が定まらず土地売却事業はなくなり、取得は出来ませんでした。次年度に社会福祉充実計画を持ち越し、関係者等からの情報収集に今後も努め、この土地取得を進めたいと考えています。

この1年、夢の郷の活動を総括的に振り返ってみると多くの課題があります。

1 新型コロナウイルス感染症について

昨年末から中国武漢からの新型コロナウイルス感染症は、爆発的に全世界的に拡散し各国の社会・経済のみならず生活全般に多大な被害をもたらすことになりました。我国では2月に入ってから都市部を中心とした大流行により、国の緊急事態宣言が4月7日に7都府県、4月16日に全国を対象に発出されました。この感染拡大防止に向けて「三密」の遵守が強調されています。

夢の郷においても、毎日バイタルチェックを利用者・職員全員で行い、アルコール消毒、マスクの着用などを徹底し、「絶対持ち込まない、発生させない、流行させない。」との強い姿勢で継続的に取り組んできました。

国から集会や行事の自粛要請もあり3月6日に開催予定の「夢のまつり 2020 創立20周年記念」を中止しました。今後については、新型コロナウイルスの終息状況等を考慮して検討していきます。

クローバーハウスが行っているパン販売は、3月からの高等学校の休校や各種イベントの中止も重なり大きな打撃を受けています。

2 職員の確保とその資質向上について

職員の高齢化が年々進み平均年齢は50歳代後半となっています。このような中で専門的な資格を有し、障がい者支援の経験を重ね、夢の郷を担ってくれることを期待していた若手職員が残念ながら何人か退職しました。若手職員が働きやすい職場環境づくり、給与等の改善に向けた取り組みを充実させる必要があります。

利用者処遇の充実のためには、管理者・職員が運営会議、部署会議、各委員会を通じて情報共有を行い、相互の風通し人間関係をより良くすることが重要です。

研修に関しては、職場内外研修に参加した時は受講者が伝達研修を開催しました。

職場内研修については、研修委員会が企画したテーマを学習し資質の向上に努めました。しかし、まだ日常の業務に追われ、研修参加者は限られた人だけであり、職員の確保とともに資質向上は依然として重要な課題となっています。

夢の郷の長期的な展望を考えたとき、資格を持った（持つ予定）若手の職員の確保・養成は不可欠です。しかし求人難のおり、優秀な人材確保が難しい時でもあり、より広範囲に人材の開拓が必要でしたが、限られた職業安定所や福祉人材センターなどに頼っていたのは今後の課題です。

3 利用者の確保について

利用者の地域生活の暮らしの場である宿泊型自立訓練事業所「朝海ハイム」（定員 10 人）、共同生活援助事業所「グループホーム夢の郷」（4 か所合計定員 22 人）、日中サービス支援型共同生活援助事業所「あすか」（定員 6 人、短期入所 1 人）等は、十分活用されています。

しかし、日中活動の場である就労支援 B 型事業所「クローバーハウス」（定員 20 人）、「いすゞ工房」（定員 20 人、生活介護多機能型 8 人）、生活介護事業所「朝海ハイム」（定員 20 人）は、定員を満たすことができませんでした。特に就労支援 B 型事業所については、制度の規制緩和や他業種の事業所の進出があり、利用者の確保が厳しい実態があります。また、障がいの特性から入退院を繰り返す方もいて、継続的に利用者の確保が安定しない現状があります。

安定的な法人運営のためには、定員を充たす必要があります。

4 共同生活援助事業について

地域での当たり前の生活を少しでも豊かにするため「暮らし」を視点に利用者一人ひとりに適した生活の質の向上のための支援を進めてきました。

4 か所のグループホームへの支援体制についても、朝食見守り、服薬管理・事業所への送迎、夜間の訪問・支援を行い投薬支援とともに安否確認を行うよう強化しました。

5 社会福祉充実計画について

平成 30 年度決算に基づき社会福祉充実残額を計算した結果 2,503 万円となり、社会福祉充実計画のアンダンテ新築移転を実現するために必要な隣接県有地（960 m²）取得を計画し予算確保、入札準備等の手続きを進めていました。しかし、県の売却計画が遅れていたため土地取得はできませんでした。所管官庁である津市健康福祉部福祉監査室に現状を説明し、充実計画を令和 2 年度に持越したい旨説明し了解を得ています。

6 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人は地域において公益的な活動をすることが求められています。夢の郷ではうどん屋「いすゞ亭」を活用し、地区民生委員の協力をもと東城山地区在住の 70 歳以上の高齢者（限定した方）を対象に、「ふれあいうどん」の提供を行っています。地域の高齢者相互がふれあい、外出の機会を増やし、夢の郷の理解の促進を目的

とする『ふれあいうどん割引券』を月2枚お届けしています。月平均延べ80人の利用があります。「いすず亭」の看板を大きくし分かりやすくしましたが、店舗が狭く座席数が限られており課題となっています。

7 防災計画等について

夢の郷は、利用者が安全・安心な生活や仕事ができる環境を提供する使命があります。また津市福祉避難所として指定されています。このため職員は、自然災害等に対する防災意識、職場・住居の環境整備に対する危機意識を日頃から持つとともに、利用者支援において事故等の発生防止に努める責務があります。

夢の郷では、「消防計画」「地震防災対策計画」に基づき宿泊型自立訓練事業所及びグループホームでは防災・防火訓練、地震避難訓練等を毎月実施しました。その内2回は実際に夜間に避難訓練を行いました。

また、利用者支援時における事故対応については、「リスクマネジメント実施規定」に基づき、危機管理委員会を開催し事故報告書・ヒヤリハット報告を分析して情報共有・事故再発防止に取り組んでいます。

(1) 消防計画について

各事業所には消防防災設備配置図を備え置き、委託専門業者が年2回消防用設備等の点検業務を実施しています。不良と判定された設備等については、早急に改善改修等を行っています。階段・通路等には、避難の際に支障となる物品等を置かないこと、喫煙について建物内は全て禁煙としています。また厨房等の火気使用設備器具については使用前後の点検、安全確認等を実施・指示しています。

(2) 地震防災対策計画について

各事業所単位で防災・避難訓練等を実施しています。

(3) 非常事態等への対応について

非常事態に備えて職員緊急連絡網をその都度更新して整備しています。

特に夜間利用者が宿泊するグループホーム、朝海ハイム（宿泊型自立訓練事業所）については、別途連絡網を整備しています。

各グループホーム、朝海ハイム（宿泊型自立訓練事業所）には、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置して安全・安心の暮らしを進めています。

(4) 利用者の事故対応について

関係職員間で事故発生の情報を迅速に共有し、連携を密にして対応を協議しています。事故報告書を危機管理委員会に諮り事故発生原因や防止策を検討しています。

8 夢の郷将来構想の進捗状況について

将来構想のアンダンテ新築移転計画は隣接国有地が取得できず進んでいません。

「アンダンテ」

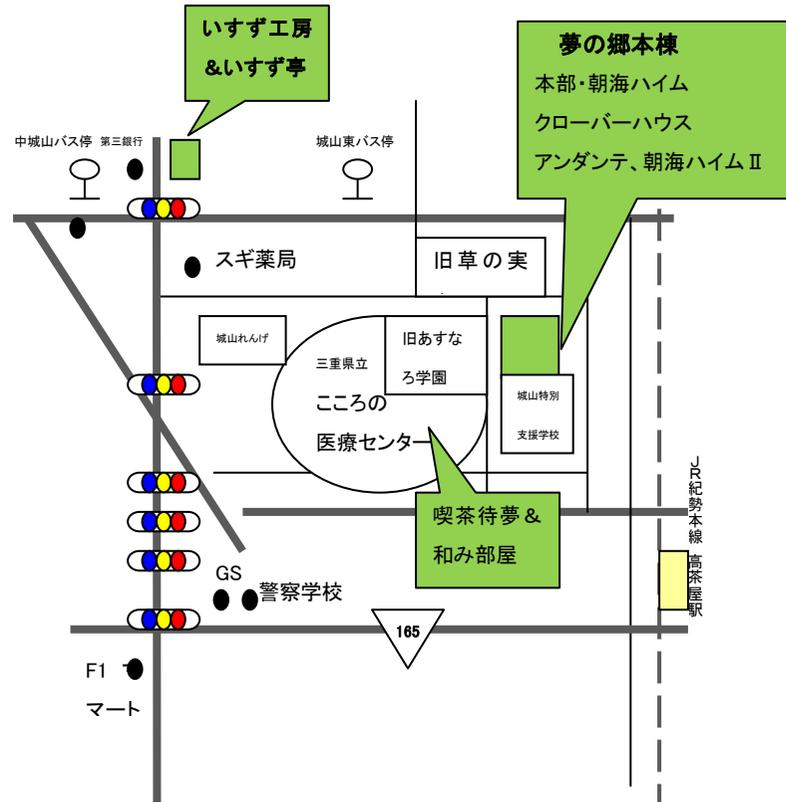
●一般相談支援事業

- ・計画相談

地域生活をコーディネートし、自分らしい生活へのプランを提案します。

●日中一時支援事業

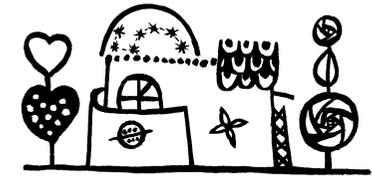
- ・憩いの場、余暇活動の機会、食事、入浴等のサービス提供を行います。



三交バス津駅より警察学校行 「城山東」下車 徒歩3分
 三交バス津駅より警察学校行 「中城山」下車 徒歩7分
 JR紀勢本線 「高茶屋駅」下車徒歩18分
 伊勢自動車道 久居 I.C 車で15分

事業案内

社会福祉法人 夢の郷



津市城山一丁目8番16号

TEL 059-238-0303
 FAX 059-238-0304

夢の郷は、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、生活支援を行います

クローバーハウス

- 就労継続支援B型事業

パン製造・販売

受託作業

☎ 059-234-5939

Fax 059-238-0304

缶詰パン



いすず工房

- 就労継続支援B型事業

(製麺・販売・受託作業)

いすず亭(うどん屋)

喫茶待夢(こころの医療センター内)

- 生活介護事業

☎ 059-234-0020

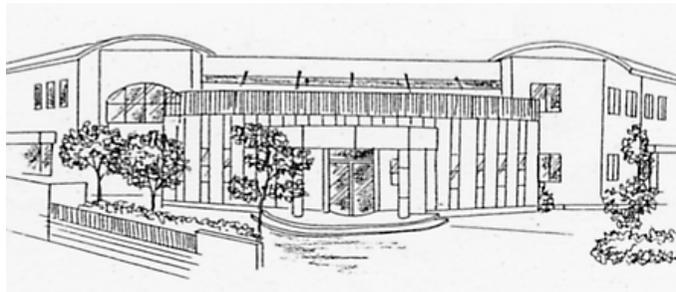
Fax 059-234-0155

あさみ 朝海ハイム

- 宿泊型自立訓練事業

- 生活介護事業

和み部屋(こころの医療センター内)



○利用につきましては、福祉サービス受給者証が必要です。
居住地の市町福祉課にご相談ください。

【包括型グループホーム夢の郷】

はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ

【日中サービス支援型グループホーム】

あすか

令和元年度 行事等実施報告

項目 月	行事等	災害訓練	健康管理・衛生関係	会議
4月		18 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医師	1 辞令交付
		30 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	17 高茶屋診療所医師講話	4 運営会議
5月	就労支援事業所交流会	16 防災地震訓練(グループホーム)	天の川歯科医師	2 運営会議
		27 防災避難訓練(朝海生活介護)	21 高茶屋診療所医師講話	16 監事監査
		28 防災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		24 理事会・評議員会
6月	三家連総会	20 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医師	6 運営会議
	三重県連精障害者事業所連絡会総会	24 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	19 高茶屋診療所医師講話	13 定時評議員会
	27 三家連名張市摩大会			
7月	3 ころろ医療センター夏祭り	12 避難訓練(いすゞ工房)	天の川歯科医師	4 運営会議
	13 三重県精神保健福祉協議会総会	19 避難訓練(クローバーハウス)	17 高茶屋診療所医師講話	18 三重県連精障害者事業所連絡会
	25 ころろ医療センター夏祭り	29 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		31 津市社会福祉法人指導監査
8月	3 ジャズコンサート	15 防災訓練(グループホーム)	2 職員定期健康診断	8 運営会議
	13 県連精障害者事業所連絡会例会	28 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)	3 天の川歯科医	21 計画相談検討会議
	22 県連精障害者事業所連絡会例会		9 利用者定期健康診断	29 ゆかいな仲間コンサート
			21 高茶屋診療所医師講話	30 津市精神障害者連合会
9月	1 ぶどう狩り	5 防災訓練(朝海生活介護)	7 天の川歯科医師講話	5 運営会議
	19 県連精障害者事業所連絡会例会	13 防災訓練(いすゞ工房)	18 高茶屋診療所医師講話	11 城山地区意見交換会
		19 防災訓練(グループホーム)		16 スポーツレクリエーション大会
		24 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		21 理事会
10月	高茶屋小学校社会見学	2 防災地震訓練(朝海ハイム生活介護)	天の川歯科医師	3 運営会議
	16 三重県社会福祉大会	5 防災訓練(いすゞ工房)	16 高茶屋診療所医師講話	14 理事会・評議員会
	25 三重県精神保健福祉大会	11 火災訓練(朝海ハイム生活介護)	9 職員定期健康診断	18 津市自立支援協議会
	26 しつと祭	24 火災訓練(グループホーム)	28 利用者定期健康診断	
	26 全国てんかん協会三重県大会			
11月	7～8 みんなネット愛知大会	8 防災訓練(いすゞ工房)	7 天の川歯科医師	6 運営会議
	16 県精神事業所連絡協議会例会	21 火災訓練(グループホーム)	20 高茶屋診療所医師講話	14 三重県精神保健福祉審議会
	20～ 社会就労センター愛知大会	26 避難訓練(朝海宿泊 防災グッズ点検)	6 インフルエンザ予防接種(利用者)	5 津市精神保健福祉連合会
		11 防災訓練(いすゞ工房)	20 インフルエンザ予防接種(職員)	20 三重県連精障害者事業所連絡会
12月	19 クリスマス会	19 防災訓練(グループホーム)	5 インフルエンザ予防接種	5 運営会議
	21 ジャズコンサート	24 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	13 天の川歯科医師	7 理事会
	27 すき焼き忘年会	12 防災訓練(朝海ハイム生活介護)	18 高茶屋診療所医師講話	18 評議員会
1月	7 新年交流会	16 防災訓練(グループホーム)	11 天の川歯科医	9 運営会議
	18 こころのお笑いサミット	24 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	22 高茶屋診療所医師講話	23 三重県連精障害者事業所連絡会
	18 ジャズコンサート	28 防災訓練(朝海ハイム宿泊)		
2月	1 豆まき	20 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医師	8 運営会議
	24 就職フェア	11 地震防災(朝海(生活介護))	19 高茶屋診療所医師講話	20 三重県精神保健福祉審議会
		17 防災訓練(いすゞ工房)		13 三重県自立支援協議会
		25 避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 三重県連精障害者事業所連絡会
3月	3 ひなまつり	9 夜間避難訓練(グループホーム)	8 天の川歯科医師	5 運営会議
		11 避難訓練(いすゞ工房)	18 高茶屋診療所医師講話	13 理事会
		12 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		23 評議員会

令和元年度 実習・研修・見学・ボランティア受入 実績報告

1 実習の受入

職種等	学校	実人員	日数
看護師	津看護専門学校	25	6
	三重大学医学部看護学科	44	10
	三重県立看護大学	29	7
合計	3箇所	98	23

2 研修の受入

機関・施設名	実人員	日数
岐阜県各務原市知的障害者相談員協議会	11	1

3 見学の受入

機関・施設名	実人員	日数
NPO法人 暖家	3	1
津市立高茶屋小学校3年生	89	1
滋賀県障がい者家族会のぞみ会	23	1
合計	115	3

4 ボランティアの受入

ボランティア内容	実人員	日数
清掃を通してのアンダンテとの交流	1	12
レク活動を通しての利用者の余暇活動支援	5	5
合計	6	17

令和元年度「研修委員会」報告

外部研修

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
1	5	22	令和元年度 津市精神保健福祉連合会総会	津市精神保健福祉連合会	1
2	5	28	令和元年度 社会福祉法人役員及び幹部職員研修会	三重県経営協	1
3	5	30	令和元年度 第1回津市地域自立支援協議会	津市地域自立支援協議会	1
4	6	12	令和元年度 第1回津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会	1
5	6	14	令和元年度 第8回三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会 総会	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	1
6	6	19	障がい者福祉サービス事業所管理者集団指導	三重県社会福祉協議会	1
7	6	22	令和元年度 三重県社会就労センター協議会総会	三重県社会就労センター協議会	2
8	6	24	令和元年度自主企画研修 社会福祉施設における災害への備え～いま、災害が起きたら～	三重県社会福祉協議会	1
9	6	27	第44回 三家連精神保健福祉大会	三重県精神保健福祉会	2
10	7	4	令和元年度 会計担当者養成連続講座2日間コース	三重県社会福祉協議会	1
11	7	5	令和元年度 第1回津市地域自立支援協議会精神保健福祉ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	1
12	7	8	令和元年度 こころの県民講座 身近に潜む依存症～ギャンブル依存症について知ろう～	三重県立こころの医療センター	1
13	7	26	令和元年度 津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会	1
14	8	2	令和元年度 会計担当者養成連続講座2日間コース	三重県社会福祉協議会	1
15	8	5	令和元年度 第2回津市地域自立支援協議会精神保健福祉ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	2
16	8	14	令和元年度 若年層自殺対策事業関係者向け研修会 メタルヘルスの不調を抱える若者への支援「きほんのき」	三重県立こころの医療センター	5
17	8	16	令和元年度 福祉・介護職員等特定処遇改善加算説明会	三重県経営協	1
18	8	19	セルフ商品販売向上セミナー	全国社会福祉協議会 社会就労センター協議会	2
19	8	22	三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会研修 現場の職員さんの悩み！～解決するには～	三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会	5
20	8	23	第1回事例検討会	津市基幹障がい者相談支援センター	1
21	9	4	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
22	9	5	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
23	9	5	令和元年度 三重県障害者相談支援等研修会	公益社団法人 三重県障害者団体連合会	1
24	9	11	令和元年度 第1回人材育成研修 虐待が疑われる相談への対応を学ぶ	津市基幹障がい者相談支援センター	1
25	9	12	食品衛生責任者新規養成講習会	一般社団法人 三重県食品衛生協会	1

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
26	9	16	第2回 観て知ろう！バリアフリー映画上映in三重	三重県人権センター	2
27	9	18	消費税の軽減税率制度に関する説明会	津税務署	1
28	9	19	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
29	9	20	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
30	9	20	三重県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修会	三重県子ども・福祉福祉部障がい福祉課	2
31	10	1	HACCP制度説明会	津保健所	1
32	10	2	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
33	10	3	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	三重県社会福祉協議会	1
34	10	10	令和元年度 第1回津地域精神保健福祉連絡協議会	津保健所	2
35	10	16	第68回 三重県社会福祉大会	三重県社会福祉協議会	2
36	10	17	第2回事例検討会	津市基幹障がい者相談支援センター	1
37	10	17	三重県精神保健福祉会全体会議・家族研修会	三重県精神保健福祉会	1
38	10	21	令和元年度 第3回津市地域自立支援協議会 精神保健福祉ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	1
39	10	25	第52回三重県精神保健福祉協議会大会	三重県精神保健福祉協議会	3
40	10	25	令和元年度 労務管理研修会	三重県経営協	1
41	10	26	日本てんかん協会 第46回全国大会三重大会	日本てんかん協会	2
42	11	1	令和元年度 知的障がい者福祉専門研修会	三重県障害者相談支援センター	2
43	11	7	基幹障がい者相談支援センター人材育成研修 サービス等利用計画書作成スキルアップ研修	基幹障がい者相談支援センター	1
44	11	7	第12回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと愛知大会	全国精神保健福祉家族会	3
45	11	7	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修初認者職員コース	三重県社会福祉協議会	1
46	11	8	令和元年度 キャリアパス対応生涯研修初認者職員コース	三重県社会福祉協議会	1
47	11	13	三重県サービス管理責任者更新研修	三重県社会福祉協議会	1
48	11	14	HACCP制度説明会	津保健所	1
49	11	20	三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修	三重県社会福祉協議会	3
50	11	20	こころの元気研修会	三重県立こころの医療センター	1

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
51	11	21	東海北陸社会就労センター研究協議会 愛知大会	社会就労センター	3
52	11	25	三精連 名古屋ライトハウス視察研修	三精連	1
53	12	3	令和元年度 衛生管理研修会「感情マネジメント」研修	三重県経営協	1
54	12	9	精神科医療と福祉の連携研修会	三重県こころの健康センター	1
55	12	18	令和元年度 第4回津市地域自立支援協議会 精神保健福祉ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	1
56	12	19	三重県医療保険及び子ども・福祉関係者感謝の集い	三重県子ども・福祉障害福祉課	1
57	12	20	三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会定例会	三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会	1
58	12	20	令和元年度 第3回津市障がい者計画相談支援事業所 連絡協議会 研修会	津市障がい者計画相談支援事業所 連絡協議会	1
59	1	8	令和元年度 都道府県経営協セミナー(後期)	経営協	1
60	1	16	令和元年度 第4回津市地域自立支援協議会 地域移行ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	1
61	1	18	笑って学べるこころのバリアフリーSHOW	三重県	1
62	1	20	相談支援体制の強化に向けた会議	基幹障がい者相談支援センター	1
63	1	28	令和元年度 第2回津地域精神保健福祉連絡協議会	津保健所	1
64	1	30	基幹障がい者相談支援センター人材育成研修 相談支援スキルアップ研修	基幹障がい者相談支援センター	1
65	2	6	令和元年度 精神保健福祉専門研修会	三重県こころの健康センター	1
66	2	8	ダイバーシティ社会推進 映画上映・LGBTトークセッション	三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課	1
67	2	13	三重県精神保健福祉会 令和元年度第2回全体会議・家族研修会	三重県精神保健福祉会	2
68	2	14	令和元年度 第5回津市地域自立支援協議会 地域移行ワーキンググループ	津市地域自立支援協議会	1
69	2	24	令和元年度 第2回福祉の就職フェア	三重県福祉人材センター	1
70	2	25	野中式事例検討会を学ぶ	津市地域自立支援協議会	1
				合計	97

内部研修

No	実施日		研修名	研修講師	人員
	月	日			
1	10	21	管理者研修	山口 晃	
2			個人情報保護(各部署)	事業所管理者	
3			虐待研修(各部署)	木村 真也・河本 静・河戸 真澄	
4			接遇研修(各部署)	宮本 通生	
				合 計	0

令和元年度 「苦情解決委員会」 報告

1. 苦情集計

	件数		
6月	3	内 容	なごみ部屋で販売する米飯、おかずの味の低下。
		改善策	販売前に試食を行い味を確かめる。 お客様の声に耳を傾ける。
		内 容	カレーライスがしょっぱく美味しくなかった。
		改善策	当日はチキンカレーでしたが、事情により鶏肉をお出し できませんでしたので、カレーうどん用のカレーをお出した。 6月28日より、鶏肉をお出しすることとなり、皆様と同じ メニューとさせていただくこととする。
7月	1	内 容	クローバーハウスでの作業を静かな環境の中で行いたい。
		改善策	利用者様それぞれの特性があり、いつも静かな環境を用意する 事は、困難であるがそれぞれの意見を聞きながら、適切な環境 で作業していただけるように考えていく。
7月	1	内 容	いすず工房昼食時（利用者様）のうどんスープがとても ぬるかった。
		改善策	IHの電源状態を常に確認する。 鍋と湯切りザルを購入する。
8月	2	内 容	夢の郷夏祭り昼食のピザの味が落ちたように思う。 又、縁も堅かった、
		改善策	ピザ台は2度焼きするので堅くなりやすく、発酵不足が考えられるので、 2度焼きをしないピザトースト等を考える。
		内 容	菓子パンの袋が開いていた。シーラーがきちんとされていなかった。
		改善策	シーラーする際は、袋の口元をしっかりと合わせてから圧着させるよう 指導する。圧着後の確認及び、仕分け前の確認と、二重チェックを行う。
9月	1	内 容	利用者等の薬の流用があり保管は、第三者の目のある所で 大切に行って欲しい。
		改善策	薬は、施錠できるロッカーを使用する事。施錠の開閉は決まった職員が 行い、薬を出す度管理者に報告する。
10月	1	内 容	子育て中の職員が腰を痛めていたので、本部棟に近い駐車場を融通して もらえないだろうか。
		改善策	まずは、事業所内にて対応するが、危機管理委員会においても再度 聞き取りをし対応する。

	件数		
12月	3	内 容	GHの利用者様より、夕方鍵をかけずに職員が帰った為、どうしたら良いのかわからないとの連絡が事務所に入った。
		改善策	すべてのGHでは、職員が外から鍵をかけるのではなく、利用者様の中からしていただきます。職員はこのことを周知し、利用者様には再度お願い致します。
		内 容	送迎時に片手運転をする職員がいるので怖い。
		改善策	ハンドルの握る位置、回し方を再確認し、常に安全運転を心掛ける様促した。
		内 容	職員にこころの余裕をもって欲しい。利用者の方々の個々の疾患について再度学習して欲しい。
		改善策	朝礼で利用者様の体調の情報を職員全体にて共有し、利用者様の事を一番に考えて支援をさせて頂く。
1月	1	内 容	職員の仕事に対する姿勢、態度が不適切であるため、不愉快、不信感等与える事となった。
		改善策	本人に苦情内容を伝え、利用者様への支援について話し合い、信頼回復より良いサービスが提供できるよう努める。
2月	2	内 容	クローバーハウスのチョコレートケーキのチョコレートが溶けて、見栄悪かった。ラッピングに一工夫欲しい。
		改善策	融点の高いチョコレートを使用する。 ラッピングについては、工夫してお客様の目を引くようなものにしていく。
		内 容	職員のえこひいきが多い。
		改善策	利用者様の個々のプランに沿った支援をしていく。
3月	2	内 容	利用者様が職員に対し、嫌がらせと見受けられる行動がある。
		改善策	本人と面談し、人の嫌がることをしない様約束する。 その後、計画相談、訪問看護にも状況を伝え会議を持つ。
		内 容	職員が利用者様に対しての誤り方の態度が悪い。
		改善策	利用者様に気持ちを通じる様、謝罪する。そのためには、利用者様との信頼関係を築いていけるようにする。

2. 苦情委員会報告

第1回	4月 1日	苦情申し出窓口設置についての通知
第2回	5月 30日	第1回苦情解決委員会
第3回	6月 6日	運営会議報告
第4回	6月 14日	苦情申し出窓口設置についての通知 (理事会にて第3者委員変更承認されたためによるもの)
第5回	6月 27日	第2回苦情解決委員会 / 苦情検討3
第6回	7月 4日	運営会議報告
第7回	8月 1日	第3回苦情解決委員会 / 苦情検討1
第8回	8月 8日	運営会議報告
—	8月 22日	苦情解決結果の掲示(報告)
第9回	8月 29日	第4回苦情解決委員会 / 苦情検討2
第10回	9月 5日	運営会議報告
—	9月 11日	「障がい者虐待の防止と対応」の研修に出席
第11回	9月 26日	第5回苦情解決委員会 / 苦情検討1
第12回	10月 3日	運営会議報告
—	10月 24日	苦情解決結果の掲示(報告)
第13回	10月 25日	第6回苦情解決委員会 / 苦情検討1
第14回	11月 6日	運営会議報告
第13回	11月 29日	第7回苦情解決委員会
第14回	12月 5日	運営会議報告
第15回	12月 26日	第8回苦情解決委員会 / 苦情検討3
第16回	1月 9日	運営会議報告
第17回	1月 30日	第9回苦情解決委員会 / 苦情検討1
—	1月 31日	苦情解決結果の掲示(報告)
第18回	2月 6日	運営会議報告
第19回	2月 27日	第10回苦情解決委員会 / 苦情検討1
第20回	3月 5日	運営会議報告
第21回	3月 27日	第11回苦情解決委員会 / 苦情検討2

令和元年度「危機管理委員会」報告

1 総括

① リスクマネジメントの実施

事故報告及びヒヤリハットへの検討 各事業所へ年度末に状況聞き取りを行った。
個人情報に関する研修と資料作成した。

② 防火・防災訓練と対応

夜間防災訓練の実施、備蓄品の補充及び管理を行った。

③ 感染症対策の徹底

新型コロナウイルス感染症対策、インフルエンザ発症への対応と報告を行った。

④ 健康管理

健康診断・インフルエンザ予防接種の実施、医師講話への参加要請を行った。

⑤ 環境整備

建物の外周点検、ゴミ処理への提案と注意喚起を行った。

⑥ 公用車管理・利用者送迎

公用車及び駐車場の管理、利用者送迎マニュアル作成と変更についての周知を行った。

2 開催状況と検討内容

月	日	検討内容
6	7	委員会の年間計画 役割分担
7	8	熱中症対策について 熱中症対策ポスター配布
9	3	震度6弱程度を想定した夜間防災訓練の提案 建物外周点検の実施
10	7	夜間防災訓練の実施 建物外周点検の結果報告
10	10	定期健康診断について 利用者様採尿方法の提案
11	6	インフルエンザ予防接種に関する注意事項配布・掲示の依頼
11	11	防災グッズの点検 冷蔵庫内の点検、清掃 建物内部点検の提案
12	10	個人情報管理について 研修資料として各事業所に配布
12	16	夢の郷施設内の備蓄品必要数を確保 年末年始のごみ対策について
1	20	医師講話について 安全運転の徹底
2	10	インフルエンザ蔓延防止策 夜間避難訓練の実施について
2	24	夢まつり開催について-新型コロナウイルスへの危惧
3	16	年度の報告とまとめ
3	30	新型コロナウイルス対策 次年度駐車場及び送迎の変更
4	6	新型コロナウイルス対策 マスク配布と使用について注意事項

令和元年度 ヒヤリハット・事故報告集計

1 ヒヤリハット

月	件数		
4	2	内容	異物混入 クッキーに卵の殻が混入。
		改善策	玉子を割ったあとに異物チェックを行う。
		内容	転倒・転落 事業所内非常口灯でつまずく。
		改善策	スリッパをやめ、自分に合った靴に履き替えてもらう。
6	2	内容	転倒・転落 休憩時間中、椅子に座っていたところ、バランスを崩し後ろ向きに倒れ転落。
		改善策	利用者の体調を職員が常に把握し、作業中や休憩中の見守りを行う。
		内容	転倒・転落 席を立ち移動しようとしたところ、隣の椅子に足をひっかかけてしまい転倒する。
		改善策	席替えを行い、安全に過ごせるよう環境を整える。身体状況の変化への情報共有をする。
7	1	内容	品質管理 和み部屋で販売する為のエビの天ぷらに火が通っていないものがあった。
		改善策	調理に関して丁寧な作業を徹底する。販売前に必ず試食をする。
8	1	内容	転倒・転落 雨天に薬局に薬をもらいに行き、前傾姿勢になり転倒した。
		改善策	足のふらつきや歩行に不自由があるときには、危険性を予測して見守る。
9	1	内容	無断外出 グループホーム利用者が買い物の帰りに迷って、17時を過ぎても帰らなかった。
		改善策	利用者様の状況に応じて必要な支援をする。夢の郷連絡カードを早急に配布する。
10	2	内容	品質管理 冷凍庫のヒューズ飛びにより、クッキー生地が劣化していた。
		改善策	冷凍庫の温度確認を日々行いエラーコードを見逃さない。フィルター清掃を定期的に行う。
		内容	誤薬 眠前薬を間違えて手渡ししてしまう。服薬の前に違いに気づき誤薬は避けることができた。
		改善策	手渡しの際は薬袋に書かれた名前を呼び、本人確認を徹底する。
11	3	内容	無断外出 タバコを吸いたくなり、職員に無断で買いに行き予定の時間に帰れず付近を捜した。
		改善策	入所間もない人へは、プラン通り支援を行い、不安な気持ちにさせない。
		内容	伝達ミス 歯科受診日に事業所へ迎えに行くことを忘れ、家族を待たせてしまう。
		改善策	各事業所間で朝礼を行い情報共有する。各職員がその日の業務内容を把握しておく。
		内容	紛失 手渡し確認の上げ服薬支援と決まったのに、朝食と共にテーブルに置き薬を失くした。
改善策	服薬時には薬にかかっている名前を呼び本人確認し、手渡しすることを徹底する。		
12	2	内容	怪我 いすず亭で利用者さんが作業中、熱いバットに手が当たり火傷する。
		改善策	就労中は利用者さんの安全を第一に考え、職員が現場を離れる際は危険なものを取り除く。
		内容	業務ミス 銀行預け入れの日に売上金を届けるのを忘れ、担当者を待たせた。
		改善策	一人しかできない業務を作らず、複数担当制も取り入れてスムーズな事業を行う。
1	3	内容	交通事故 いすず工房駐車場でアイドリング状態で車を放置した。
		改善策	わずかな時間でもエンジンを切り降車後は運行簿の記載と鍵を戻す習慣をつける。
		内容	品質管理 クッキーのシーラーが弱く袋が開き、売り場でバラバラになった。
		改善策	シーラーの使い方を再度確認し、納品前に商品のチェックを徹底する。
		内容	怪我 花壇のレンガ破損部分で足をひねり右膝と右手をアスファルトに打ち付ける。
改善策	出入り口に虎テープを貼り視覚により注意できるようにした。		

2	1	内容	業務ミス 昼食用のドリンクをつけ忘れ、後で冷蔵庫内に入っていることに気づき謝罪した。
		改善策	日頃より職員間で声を掛け合い、ミスや連絡漏れがないよう連携を強化する。
3	1	内容	業務ミス 食材の発注の時、人数の記入を忘れてメニューを変更した。
		改善策	20日の締め切りを前に人数確認をして、あFAX送信前にも再確認をする。
計	15		

2 事故報告

件数			
5	6	内容	製造ミス パンを受注したが多忙により忘れてしまい、納品できなかった。
		改善策	前年通り製造表に上げ、チェック体制を強化する
		内容	製造ミス 製造表のミスにより、当日の必要数が足りず、事業所にお詫びをした。
		改善策	製造表の再度の日付確、工房と仕訳室同時に製造表を配布する。
		内容	怪我 職員が離れた時に調理に包丁を使い、利用者が爪の一部を切ってしまった。
		改善策	利用者が包丁を使うときには、必ず職員が見守りをする。
		内容	転倒 自宅から通所の途中に足がもつれ、3度転倒して顔をすりむく。
		改善策	歩行姿勢に注意し慌てず余裕を持ち通所するよう助言した。
		内容	製造ミス 貼られていた注文票が前月のままで、それに気付かなかった。保育園にお詫びをした。
		改善策	済んだ注文票はすぐに撤去し、未処理文書と分類整理する。
6	4	内容	クレーム対応 5日前に店で注文したうどんに髪の毛らしきものが混入していたと見知らぬ男性から苦情。
		改善策	一人に対応せず、その場でお金を支払ったりしない。相手の連絡先の確認をする。
		内容	クレーム対応 夕方に男性が来訪し、購入したパンの中に髪の毛が混入していたと訴えがあった。
		改善策	状況を聞き複数職員で対応を行う。情報共有を行い再発防止に努める。
		内容	製造ミス パン発酵器のタイマーセットを間違え、必要数以上のパンを製造した。
		改善策	タイマーセットは、日付をしっかり確認し、慎重にセットする。
7	5	内容	製造ミス パン袋の消費期限日付を間違い、納品に間に合わなかった。
		改善策	ラベラーの日付セットした時点でスタッフが点検を行い事故を未然に防ぐ。
		内容	現金置忘れ 事務所の机の上に現金2万円が置き忘れたままになっていた。
		改善策	現金はその日のうち処理する。すべての事業所に事故の連絡、報告、確認を行う。
		内容	作業ミス 宛名シール貼りの作業において、シールが貼られてないまま納品して迷惑をかけた。
		改善策	作業開始の前には手順を説明し、納品する前に職員が必ず確認する。
7	5	内容	怪我 製品を机の上に出そうとした利用者を止めようとした際、怪我をおわせた
		改善策	怪我をしやすい製品については、取り扱いに注意して見守りと管理を徹底する。
		内容	品質管理 和み部屋で販売する為のエビの天ぷらに火が通ってないものがあった。
		改善策	調理に関して丁寧な作業を徹底する。販売前に必ず試食をする。
		内容	交通事故 公道で停車していたところ前方不注意の車が右折してきて追突事故となった。
		改善策	相手が交通ルールを遵守するとは限らないので、普段から危険予測をこころがける。
7	5	内容	交通事故 駐車場で後方発進時に職員の車にあてた。
		改善策	発進前の周囲の状況を確認し、慎重な運転に努める。

8	5	内容	交通事故 イライラして、帰宅時に左右確認を怠り駐車場で車をぶつけた。
		改善策	体調が悪いときは休憩してから帰宅する。
		内容	業務ミス 検食担当であることを忘れて、翌日より検食を行った。
		改善策	給食委員会としての役割を再検討し、朝礼時に委員会として伝達をしミスを防ぐ。
		内容	異物混入 コッペパンを入れていたコンテナにゴキブリが入っていた。納品先から注意を受けた。
		改善策	パンの入ったコンテナを置く場所を廊下からアンダンテ交流室に変更する。
		内容	破損 TVでサッカー中継をみていて興奮し、居室窓ガラスを蹴り破損する。
		改善策	パニックが起きて行動化する場合に備え、ガラスに風防版を貼る。
9	1	内容	業務ミス 給食委員よりメニュー変更の連絡がなくそのまま発注をしてしまう。
		改善策	メニューの決定や変更があった場合は、給食委員会責任者が注文担当者に説明をする。
10	2	内容	転倒 グループホームから通所中に足がもつれて転倒し、擦り傷を負った。
		改善策	加齢により歩いての通所が困難になったときに送迎支援を勧める。
		内容	誤薬 同時に入所した人の名前が覚えられず、本人確認をせずに眠前薬を手渡し手服用してしまった。
		改善策	薬の手渡し時には必ず名前を呼んで確認して手渡す。
11	5	内容	無断外出 職員が目を離れた5分の間に施設外に出る。待夢で見つけてもらう。
		改善策	無断外出のリスクのある利用者さんは、職員が連携し常に所在を把握しておく。
		内容	交通事故 利用者送迎中駐車場にてバックし、確認不足で停車中の車に接触する。
		改善策	利用者さんへの安全配慮を意識して、落ち着いて運転する。
		内容	無断外出 帰所時間を約束し送り出すが、予定時間になっても帰宅せず警察に保護される。
		改善策	入所間もない利用者さんへは外出時、職員が同行するなど慎重な対応が必要である。
		内容	交通事故 送迎時道を間違えて、戻ろうと左折した所ポールに衝突した。
		改善策	事前にルートを確認する。道を間違えた時には落ち着いて対応する。
12	6	内容	万引き コンビニで万引きをして、警察署から連絡があった。
		改善策	入所当初は利用者さんの不安が強いので、職員の気づきや対応が必要である。
		内容	紛失 エンジンオイルの交換後に、ガソリンカードを紛失した。
		改善策	カードはお金の取扱いに準じて使用し、返却時には担当者へ声掛けをする。
		内容	品質管理 注文弁当の一コマにわかめご飯が抜けていた。
		改善策	出荷前の最終確認は担当者以外の人が点検するなど、欠けを失くす工夫をする。
		内容	転倒 自室からホールにあるエアコンのリモコンを取りに行こうとし転倒する。
		改善策	スリッパからより安全な室内靴にかえてもらう。眠前薬の服用時間を変える。
内容	品質管理 材料不足のため製造種類が変わり、その結果パンの賞味期限を間違えて貼り、納品した。		
改善策	事前に材料を確認する。賞味期限のミスは再発しているため点検は継続する。		

		内容	業務ミス	冷蔵庫内にホイップがないと思い込み、シフォンケーキに粉砂糖を振りかけた。	
		改善策		業務はチームプレーで行う。メモや複唱する等正確に相手に伝わっているか確認する。	
1	6	内容	業務ミス	送迎後、ドアも開けたまま荷物も載せたままエンジンをかけっぱなしで放置した。	
		改善策		送迎終了後は、キーの保管と運行簿への記載をする習慣を身につける。	
		内容	業務ミス	グループホームに30kgのコメ袋を運ぶ途中で結び目が解け米を地面にこぼした。	
		改善策		運ぶものの状況を確認してから業務に当たる。大丈夫との思い込みで行動しない。	
		内容	紛失	対象者の薬を机に置いて食堂を離れて、戻った時に薬が無かった。	
		改善策		再度服薬の重要性や取扱いの注意について学習の機会を持ち、指示に従う。	
			内容	業務ミス	弁当のお茶付き注文書の見落とし。その後の対応が不適切で注意を受ける。
			改善策		注文窓口を一本化し紙ベースで記録する。該当者には接遇研修を行い、注意喚起する。
			内容	事故	夕刻グループホームより外出し、列車にはねられ死亡する。
			改善策		自殺願望のある利用者には精神科病院での経験のある専門職員の対応が重要である。
		内容	誤薬	薬の仕分けを間違えてしまい夕薬時1錠足りない事に気付く。	
		改善策		薬の変更があった時は伝達をスムーズに行う。職員間の連携、共有が重要である。	
2	3	内容	交通事故	利用者のアパート駐車場を出る際、前方に合ったブロックに接触する。	
		改善策		運転前に周囲の確認をする。安全を心がけ、慌てず運転する。	
		内容	紛失	朝食薬を厨房カウンター内側に並べてゴミを捨てに行き、戻ったところ無かった。	
		改善策		服薬は手渡しで本人確認を必ず行う。3度目の事故で、薬の取扱いには十分注意が必要。	
		内容	作業ミス	コーヒークッキーと間違えてココアクッキー焼いて納品した。	
		改善策		生地を冷凍するときには速やかにメモを取る、色だけで判断しない。	
3	3	内容	転倒	厨房床に置いてあった段ボールにつまずき前に倒れ冷蔵庫で顔面を打つ。	
		改善策		段ボールは厨房に入れない。片付けは利用者様がいない時間に行う。	
		内容	転倒	階段の昇降時には職員の見守りが必要であったが、単独で降りて踏み外して膝を打った。	
		改善策		会議の結果により双方がルールを守ることで、事故防止に努める。	
		内容	暴力行為	症状が悪化した利用者から職員が暴力を受け怪我をする。本人は警察を呼ぶ。	
		改善策		精神症状の急激な悪化時には、複数での対応をする。かかりつけの病院で受診する。	
計	36				

令和元年度「広報委員会」報告

広報委員会は、夢つうしん発行及び「夢まつり 2020 創立 20 周年記念」等の開催に向け合計 11 回会議を開催しました。

令和 2 年 3 月 6 日「夢まつり 2020 創立 20 周年記念」の開催について、主催者として利用者、来場者等に新型コロナウイルスの感染防止について十分な予防策を講じることは困難であると判断し中止としました。

同日夜開催予定であった「じゅんちゃん一座」公演も中止となりました。

1 夢つうしんの発行について

4 3 号を令和元年 9 月に、4 4 号を令和 2 年 3 月に発行し、関係機関等へ配布しました。

【4 3 号の主なタイトル】

- ① 夢の郷創立 20 年！成人になりました。新しい年号「令和」の中で、これからの 20 年を夢あるものに
- ② 社会福祉充実計画について
- ③ 健康講話について
- ④ いすず工房（就労支援 B 型事業）利用者さんのお仕事紹介
- ⑤ 津市精神障がい者相談支援サテライト事業について
- ⑥

【4 4 号の主なタイトル】

- ① 社会福祉法人夢の郷誕生までの歩み
- ② 朝海ハイム（生活介護）の夢まつりに向けての取組紹介

2 ホームページの更新について

- (1) 夢つうしん 4 3 号を掲載しました。
- (2) 平成 30 年度の決算関係書類、事業報告書、財産目録、現況報告書、法人定款、役員報酬基準、監事監査報告書を掲載しました。

3 年賀状について

日頃からお世話になっている関係者及び関係機関等に送付しました。

4 地域交流について

- (1) 令和元年 5 月 27 日午前に高茶屋小学校 3 年生が地域の福祉施設見学に来所されました。この時の感想を書いたお礼の手紙を 7 月にいただきました。

令和元年度「給食委員会」報告

1 総括

各事業所より利用者のニーズを聴きとり、嗜好に合った食事を提供した。
利用者変更聞き取りを行い、バラエティー豊富なメニュー作成した。
各事業所より利用者のニーズを聴きとり、メニューの改善
各事業所の検食結果を検討し、改善を行った。
厨房内の整理整頓に努め、異物混入の防止に努めた。
厨房の衛生管理を行い、食中毒を予防に努めた。
咀嚼や嚥下が困難な人への対応を検討し、食べやすい食事を提供した。
健康志向の食事を提供出来るように検討した。

2 会議の協議内容

前月の昼食・夕食検食結果について
次月のメニュー・行事メニュー検討
各事業所より提案や意見を検討
その他、緊急の課題について

3 給食会議開催状況と検討内容

月	日	検討内容
4	17	GH・宿泊でみんな揃って朝食を摂れるようにすることを検討
5	20	利用者が食べやすい食事の提供方法 委員会内の役割分担について
6	19	てしおフーズのメニューの時、原則付け足しはしない。
7	17	健康志向の為、月に二回麦ごはんを入れる。 土日の検食はなし。
8	21	月に一回好評のどんぶりメニューを入れる。
9	18	朝食もメニュー表を作る。月曜の牛乳をコーンスープに変える。
10	23	食材の好き嫌いに対する対応について検討。
11	20	クリスマスメニューについて。
12	23	年末年始のメニューについて。
1	22	2月よりグループホームも検食。水曜メニューは手間のかからない物にする。
2	19	アレルギーには対応するが、好き嫌いには対応しないことをきめる。
3	18	食パンの日を一日減らしロールパンにする。好き嫌いの対応は4月から

4 改善点

利用者の好き嫌い対応について、まちまちであったため、新年度より好き嫌いには対応しないことに決定した。
アレルギー対応については、従来どおり個別に対応する。
てしおフーズ給食で量が少なそうな時も、プラスアルファはしないことに決定した。

令和元年度 「協力医療機関訪問」 報告

1 みえ医療生活協同組合高茶屋診療所

1 定期訪問と健康講話

宮崎医師及び看護師等による健康に関する講話を聴くことで利用者・職員が知識を深めた。利用者も月1回の講話では多くの質問が出され、健康への意識が高まった。

2 月別講話テーマと参加人数 * 第3水曜日開催

月/日	講話テーマ	参加者数(利用者・職員)
4/17	健康に関する質問 (フリートーク)	17
5/29	間食について	14
6/19	熱中症について	19
7/17	食中毒について	13
8/21	夏バテ予防と対策	19
9/18	肥満について	20
10/16	アンチエイジングについて	19
11/6 11/20	インフルエンザ予防接種	108
12/18	インフルエンザ×風邪について	19
1/22	ノロウイルスについて	22
2/19	花粉症について	21
3/18	間食について	21
合計 (人)		256

2 協力医療機関 天の川歯科

1 定期訪問

- 1 福島歯科医師の定期診療
- 2 毎月の定例歯磨き指導
- 3 歯の衛生管理に関する講話、昼食後の歯磨き習慣ができた。
- 4 毎日、昼食前に嚥下体操を行っている

2 月別講話テーマと参加人員、及び歯科治療数

月	歯科治療		
	テーマ	来所回数	治療者延数
4	口腔ケア（歯磨き指導）	4	14
5	義歯調整 口腔ケア	4	14
6	口腔ケア（歯磨き指導）	4	16
7	義歯調整 口腔ケア	4	13
8	義歯調整 口腔ケア	4	13
9	義歯調整 口腔ケア	4	13
10	口腔ケア（歯磨き指導）	2	10
11	歯磨き指導・歯周病予防について（模型と写真を使用）	3	26
12	義歯調整 口腔ケア	4	8
1	義歯調整 口腔ケア	4	8
2	義歯調整 口腔ケア	3	4
3	義歯調整 口腔ケア	4	7
合計（人）		45	146

令和元年度 「法人本部」事業報告

1 評議員及び役員(理事・監事)について

- ・ 新任期役員(理事 6 名・監事 2 名)が、令和元年 6 月 14 日の定時評議員会において選任された。(継続理事 4 名、新理事 2 名) (新監事 2 名)

【任期:令和元年(2019)6月14日～令和3年(2021)6月開催の定時評議員会終結時まで2年間】

- ・ 評議員(定数 7 名)は、全員が継続し就任していただきました。

【任期:平成29年(2017)4月1日～令和3年(2021)6月開催の定時評議員会終結時まで4年間】

2 理事会、評議員会等の運営状況について

開催月日	会議名	審議事項
5月16日	平成30年度 監事監査	西村監事が経理関係、脇田監事が法人運営関係を監査し、適正であるとの監査報告を受ける。
5月24日	第1回理事会	【報告事項】 ①平成30年度事業報告について 【決議事項】 ①平成30年度収支決算報告について ②平成30監事監査結果報告について ③社会福祉充実計画について ④評議員選任・解任委員の選任について ⑤定時評議員会の開催日時・議案について *全議案が承認される 【その他】 ・次期役員の選任について説明する
5月24日	評議員選・解任 委員会	【決議事項】 ①次期評議員の選任について *新評議員に松井氏が選任される
6月14日	定時評議員会	【報告事項】 ①平成30年度事業報告について 【決議事項】 ①平成30年度収支決算報告について ②社会福祉充実計画について ③次期役員(理事・監事)の選任について *全議案が承認される 【その他】 ・今後の理事会の開催曜日等について ・津市健康福祉部福祉監査室の法人指導監査について
6月14日	第2回理事会	【報告事項】 ①第1回評議員会における役員(理事・監事)の選任について 【決議事項】

		<p>①理事長の選定について</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の理事会の開催曜日等について ・津市健康福祉部福祉監査室の法人指導監査について
9月21日	第3回理事会	<p>【報告事項】</p> <p>①夢の郷事業（4月～8月）事業進捗状況について</p> <p>【決議事項】</p> <p>①10月からの管理者の交代について 朝海ハイムの管理者が又市氏から林氏、グループホームの管理者が林氏から又市氏に交代することについて承認された。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度社会福祉法人の指導監査の実施結果通知報告 ・夢つうしん第43号配布
12月7日	第4回理事会	<p>【報告事項】</p> <p>① 夢の郷事業（4月～11月）事業進捗状況について</p> <p>【決議事項】</p> <p>① 第一次補正予算について</p> <p>② 定款変更について</p> <p>③ 経理規定変更について</p> <p>④ 役員報酬規程改定について</p> <p>⑤ 職員給与規定改定について</p> <p>⑥ パートタイム職員就業規則改定について</p> <p>⑦ 評議員開催日時・議案等について</p> <p style="text-align: center;">*全議案が承認される</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月6日夢まつり開催について
12月18日	第2回評議員会	<p>【報告事項】</p> <p>① 夢の郷事業（4月～11月）事業進捗状況について</p> <p>【決議事項】</p> <p>① 第一次補正予算について</p> <p>② 定款変更について</p> <p>③ 経理規定変更について</p> <p style="text-align: center;">*全議案が承認される</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月6日夢まつり開催について
3月18日	第5回理事会	<p>【報告事項】</p> <p>① 夢の郷事業（4月～2月）事業進捗状況について</p> <p>【決議事項】</p> <p>① 第二次補正予算について</p> <p>② 令和2年度事業計画書について</p> <p>③ 令和2年度当初予算について</p>

3月18日	第5回理事会	④ 第二次補正予算について ⑤ 令和2年度事業計画書について ⑥ 令和2年度当初予算について ⑦ 第3回評議員会の開催について ⑧ 令和2年度管理者について 全議案が承認される 【その他】 ・3月6日夢まつり開催中止について
3月23日	第3回評議員会	【報告事項】 ① 夢の郷事業（4月～2月）事業進捗状況について 【決議事項】 ① 第二次補正予算について ② 令和2年度事業計画書について ③ 令和2年度当初予算について 全議案が承認される 【その他】 ・3月6日夢まつり開催中止について

4 本部事業について

- 1 理事会、評議員会を招集し、議案等の承認を受け議事録を作成しました。
- 2 役員（理事・監事）の改選を行いました。
- 3 法人全体及び各事業所の財務書類を作成し、ホームページで情報開示しました。
- 4 法人全体及び各事業所の利用、収支状況等を把握した資料を、理事会や運営会議等に提供しました。
- 5 運営会議を毎月原則として第一木曜日に開催し、情報共有等に努めました。
- 6 職員管理（採用、異動、給与等）とともに、給与・賃金アップを行いました。
- 7 職員確保について、ハローワーク等で求人募集を行いました。若手職員及び専門職員の確保はできませんでした。
- 8 各行政機関への申請、照会、回答を行いました。
- 9 社会福祉充実計画実現のための『隣接県有地』取得について、三重県総務部管財課等関係機関からの情報収集、及び入札利用登録を行いました。
- 10 津市健康福祉部福祉監査室「社会福祉法人指導監査」の口頭講評・指導事項である法人関係及び会計・経理規定に関する規定等の改正を行いました。

実施日時 令和元年7月31日（水）9時30分～15時30分

指導事項 役員報酬規程の支給方法（支給時期及び手段）の制定すること。

理事長の職務執行状況を3月に1回報告すること。

定款から、地域活動支援センターの経を削除し、地域生活支援事業（日中サービス支援事業を公益事業に追加すること。

経理規定の一部条項が関係法令等の不適合を改正すること

令和元年度 「朝海ハイム」 事業報告

宿泊型自立訓練事業（定員10名）

生活介護事業（定員20名）

1 総括

① 宿泊型自立訓練事業

- ・ 体験利用を重ねることで、病院からの地域移行が進んだ。
- ・ 宿泊型自立訓練の結果、グループホームへの移行や地域の単身生活が可能になった。
- ・ 訓練終了後の住まいについて多様な暮らし方を進める。

② 生活介護事業

- ・ 日々の入浴や決まった時間の食事と服薬で、安定した清潔な暮らしが継続できた。
- ・ 送迎等のサービスを受けることにより地域での暮らしが継続できた。
- ・ 軽作業（クッキー・部品・和み部屋販売）への参加で社会参加ができた。
- ・ 医師講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。
- ・ 訪問歯科受診にて医師からの指導と講話を受け歯磨き習慣が出来てきた。

2 年間延利用者（開設日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊型 自立訓練	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	開設366日
	10	10	8	8	8	8	11	9	7	8	9	8	延実数90人
	293	264	230	224	227	224	293	235	201	226	258	259	延2,934人
生活介護	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	開設270日
	16	16	17	18	18	17	17	17	16	17	17	19	延実数207人
	286	288	282	317	301	264	283	269	276	306	292	344	延3,508人

平均利用者数 宿泊型自立訓練 8.1人 生活介護事業 13.2人

3 地域別利用者数（31年4月1日～3月31日）

	津市	亀山	松阪	尾鷲	熊野	名張	志摩市	大紀	鳥羽	伊勢	計
宿泊型 (人)	12		2	1	1	1			1	2	20
生活介護 (人)	14	1		1	1	1	1		1	3	23

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計 実数
宿泊型 自立訓練		2	4	1	2	2	3	3	2	1	20
生活介護			3	2	1	2	3	5	3	4	23

5 サービス終了後の結果

	継続	グループ ホーム	自宅	アパート	就労B型	他施設	入院	その他	計 (実数)
宿泊型自立訓練	8	3	3	2			3	1	20
生活介護	19					1	2	1	23

6 職員体制

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
管理者兼務 サービス管理責任者	1名（常勤）	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤）	3名（常勤） 1名（非常勤）
夜勤支援従事者	4名	
地域移行支援員	1名（常勤）	
医師・看護師		2名（非常勤）

7 日課

	宿泊型自立訓練事業 (スタッフ勤務時間)	生活介護事業
サービス提供時間	夜間従事者 17:00～23:00 3:30～8:30 生活支援員 地域移行 8:30～17:30	8:30～15:00
訓練内容 (サービス内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊による自立訓練 ・ 朝夕食事提供 ・ 地域移行支援 ・ 健康管理 ・ 生活相談 ・ 生活支援 ・ 夜間防災体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業（クッキー・部品） ・ 地域交流（和み部屋） ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 その他の事業

- ・各圏域障害者相談支援センターとの連携
- ・各圏域障害者相談事業所との連携

9 行事

- ・津地域精神障害者連合会交流・地域での清掃活動等参加 ぶどう狩り・みかん狩り
- ・病院とのピアサポート交流、御殿場浜開き、地域のイベント、しつとこ祭、夢まつり
全国ナイスハートバザール、ふれあいバザ一年2回実施（いすず亭にて）
ピアサポーター養成講座参加

10 災害訓練

- ・自立訓練事業所、生活介護事業の日中防災・防火訓練 年3回
- ・避難訓練 防災 6回・防火 6回（内2回は夜間訓練）

11 健康管理

- ・定期検診（X線検査含む）と検便・インフルエンザ予防接種
- ・生活介護事業 月～金バイタルチェック実施（高茶屋診療所、天の川歯科と連携）
- ・宿泊型自立訓練事業 生活習慣病のチェック及び指導
- ・インフルエンザ対策としてうがいと手洗いの励行
- ・インフルエンザの予防についての講話
- ・熱中症対策についての講話
- ・間食についての講話
- ・食中毒についての講話
- ・夏バテ予防と対策の講話
- ・花粉症についての講話
- ・歯みがき指導
- ・新型コロナウイルス対策として毎日のマスク着用・検温・室内喚起の励行

12 事業所内研修

生活介護

新任研修

- ① リスクマネジメント・個人情報保護

継続研修

- ① 接遇・利用者への対応 苦情対応
- ② 危機管理・緊急時の対応
- ③ 職員健康管理

宿泊型自立訓練

新任研修

- ① 職員の責務、現状業務について

継続研修

- ① リスクマネジメント・個人情報保護
- ② 緊急対応について（夜間）

- ③ 感染症対策・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について伝達
- ④ 接遇研修の伝達

1 3 苦情解決

生活介護

- ① 苦情 1
- ② 意見 無

宿泊型自立訓練

- ① 苦情 1
- ② 意見 無

令和元年度 「クローバーハウス」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ パンの製造と販売を通して、地域交流ができた。
- ・ 目標とした時給459円が達成できた。
- ・ 三重刑務所用コッペパンを昨年に引き続き落札することが出来、安定した収入を得ることができた
- ・ 津市松菱物産展に出展し広域的な販売宣伝ができた。
- ・ 材料費の高騰が目立ち、菓子パンの売り上げが減少した。
- ・ ルート配達・対面販売・パンセット配達それぞれ減少傾向にあり見直しが必要。
- ・ ナイスハートバザールに出店し、販売宣伝ができた。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270
利用者人数	21	22	23	23	22	23	23	24	24	22	21	22	270
延利用日数	411	423	379	407	389	390	434	384	372	369	388	415	4,761
延就労時間	1722	1875	1821	1851	1770	1619	1787	1758	1715	1710	1586	1835	21,049

3 地域別利用者数

市町名	津	玉城	志摩	尾鷲	松阪	計
人数	23	1	1	1	1	27

4 年齢別利用者数

	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～68	計
人数	0	3	3	4	4	3	3	2	5	27

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）
目標工賃達成指導員	4名（非常勤）

6 作業種目

- ① パン・缶詰パンの製造販売・ルート配達
- ② クッキー・焼菓子等の販売
- ③ 工場受託作業（広住製作所、リネックスの作業開始）
- ④ イベント参加等

7 日課

作業時間：8：30から15：00

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日
年間270日

8 主な販売・イベント・地域交流

○定期販売先（敬称略）

イムラ（井村屋）・嬉野SA上り・農業屋みのり久居店・白山社会福祉協議会・マックスバリュー城山店・垂水店・津北店・一志店・三重県庁（県厚生棟）・津マルシェ・心豊苑・ぎゅうとら・かわげ道の駅・朝津味・松阪ベルファーム・にこまま（イオン鈴鹿）・パンセット配達・津東高校・久居高校・松阪工業・松阪商業・片田保育園・北口保育園・マンダリン・イルファール・三重刑務所

○イベント・地域交流

メーデーウォークラリー・高虎楽座・城山れんげ祭り・風早の里藤まつり・イムラもったいないバザー・津市物産まつり・高茶屋地区安全フェスティバル・コープ市・スポレク祭・南が丘ふれあい祭・津まつり・津環境フェスタ・三重刑務所矯正展・南郊公民館文化祭・盲学校文化祭・子供心身発達医療センター祭り・高茶屋小学校祭・日本てんかん協会三重大会・高茶屋ふれあい元気祭り・高茶屋診療所健康祭り・津市農林水産祭り・高洲町教育集会所文化祭・舟橋事務所みかん狩り・津新町フェスタ・農大祭・サンフラワーガーデン祭り・ふるさと三重物産展・視覚障害者用舗装具生活用具等展示会・ナイスハートバザール

9 災害訓練

事業所合同訓練・火災通報訓練
防災訓練

10 健康管理

定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種 蔓延防止のための対策
検便

11 その他の事業

三重県工賃向上計画推進事業
みえ地域応援ファンド事業

12 事業所内研修

新任研修
① 理念と苦情処理
継続研修
① 個人情報取扱管理研修
② 感情マネジメント伝達研修
③ 名古屋ライトハウス施設見学会報告研修

13 苦情解決

苦情 3
意見 1

令和元年度 「いすず工房」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）生活介護事業（定員8名）

1 総括

①就労継続支援B型事業

- ・ 工賃アップにより経済的自立への見通しがついた。（時間給 平均工賃508円）
- ・ 仲間同士で作業を教えあい協力して働く体制ができ、チーム力が高まった。
- ・ 弁当箱組立、箸入、袋折、弁当詰の作業になれ、新たな作業の導入ができた。
- ・ 喫茶「待夢」うどん店「いすず亭」での接客により、マナーの向上が図れた。
- ・ 弁当に地元の食材を使用して、地域貢献ができた。
- ・ 年間950枚の「ふれあいうどん券」利用があり地域住民との交流が図れた。
デイサービスへの昼食提供により地域の方々と利用者の交流ができた。

②生活介護事業

- ・ バイタルチェック・服薬管理により、安定した健康な暮らしが継続できた。
- ・ 仲間との交流や大正琴の余暇活動への参加で、豊かな暮らしができた。
- ・ 一貫張り作成・販売・ビスの並べ替えシール貼り作業等で社会経済活動への参加ができた。
- ・ 毎月、医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。

2 年間延利用者（開設日数）

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	17	23	266
利用者数	18	19	19	19	18	19	19	17	16	16	17	17	214
延利用数	332	339	331	351	341	309	321	315	341	327	234	325	3,866
延就労時間	1718	1873	1759	1873	1786	1790	1918	1653	1636	1632	1542	1782	20,962

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	17	23	266
利用者数	6	7	8	7	7	7	7	7	8	7	7	7	8
利用数	111	145	118	131	136	150	164	152	160	160	120	163	1,710

平均利用者数 就労継続支援B型事業 14.6人 生活介護事業 6.5人

3 地域別利用者数

	津市	明和	松阪	志摩		計
就労継続（人）	17		1			18
生活介護（人）	8					8

4 年齢別利用者数

	20～	26～	31～	36～	41～	46～	51～	56～	61～	65～	計
	25	30	35	40	45	50	55	60	65		
就労支援		2	2		3	1	2	2	2	5	19
生活介護						1		2	2	3	8

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼務生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤1名）
生活支援員	3名（常勤2名 非常勤1名）
目標工賃達成指導員	3名（非常勤3名）
医師・看護師	1名（非常勤）

6 日課

	就労継続B型事業	生活介護事業
サービス提供時間	8:30～15:30	8:30～15:00
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食・弁当事業 ・喫茶・飲食店 ・製麺事業 ・工場受託作業 ・三重県工賃向上計画推進事業 ・デイサービスへの食事提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・入浴・排せつ介護 ・日常生活上の支援 ・軽作業 ・地域交流 ・相談 ・健康管理・指導

7 行事

- ・津地域精神障害者連合会交流
- ・地域での清掃活動等参加
- ・ぶどう狩り
- ・しとこ祭

8 災害訓練（年間）

防火訓練2回、地震防災訓練 1回

9 健康管理

定期検診（X線検査含む）、インフルエンザ接種、検便、血圧測定
生活介護は毎日のバイタルチェック

10 事業所内研修

1) 新任研修

- ① 職員の責務、現状業務について

2) 継続研修

- ① 接遇マナー研修
- ② 障害者虐待防止法の理解と対応
- ③ 「正確に伝えるために」「課題解決について」の研修
- ④ 中堅職員コース
- ⑤ 食品衛生法

11 苦情解決

- ① いすず工房は業務が分かれ騒々しいスタートになるので利用者さんが少し不安になる→職員が一旦落ち着き、朝礼での情報を共有する。
- ② 昼食に対する苦情→温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できるように、効率よく作業出来るための調理手順、調理方法、人員配置等を見直す。

令和元年度 介護サービス包括型グループホーム夢の郷

(はるか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘) 事業報告

1 総括

- ① 全グループホームに早番体制をとり、朝食と服薬・送り出しの支援ができた。
- ② 健康管理・服薬支援・金銭管理等の必要な生活支援を行った。それにより、緊急入院や服薬忘れが減少した。
- ③ 夜間緊急時の携帯電話で、緊急連絡体制作りや夜間の各ホームの巡回を行い、適切な時間での眠前薬の服薬を行った。同時に利用者の安否確認を行った。
- ④ 定期的な通院及び緊急受診同行等、医療機関との連携により健康管理を行った。
- ⑤ 就労・日中活動事業所との連携・情報の伝達等を行い、暮らしの安定を図った。
- ⑥ 防災訓練に夜間訓練を加え、職員が不在の時にも避難できるようになった。
- ⑦ 個人用の防災用品の配備により、防災への意識に繋がった。

2 年間利用者数

	定員	3月末現員	延利用者数	平均実利用者数
はるか	8	8	2,056	5.6
南風荘	5	5	1,745	4.8
朝海ハイムⅡ	5	4	1,775	4.9
城山荘	4	4	727	4.0
計	22	21	7,452	25.1

3 地域別利用者数

	津	伊勢	松阪	志摩	玉城	計
延人数	21	1	1	2	1	26

4 区分による利用者数

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
2	1303	3.7	18
3	3,194	8.8	42
4	1,752	4.9	23
5	1,274	3.6	17
計	7,523	21.0	100

5 年齢別利用者数

	～30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計
人数	1		1	1	3	2	5	7	6	26

6 職員体制

職名	配置状況
管理者兼サービス管理責任者	1名（常勤兼務）
世話人	12名（常勤4名）非常勤（8名）
生活支援員	4名（常勤3名）非常勤（1名）

7 防災対策

- ① すべてのグループホームに自動火災警報装置、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置。
- ② 非常用防災用品の備蓄（防災グッズ入りリュック）
- ③ 地震避難訓練 6回（内夜間訓練2回）
防火防災訓練 6回

8 事業所内研修

- ① 新任研修 グループホームの概要について
- ② 継続研修
 - ・コミュニケーションについて
 - ・成年後見制度
 - ・個人情報保護について

9 苦情解決

苦情 2件
意見 0件

令和元年度 日中サービス支援型共同生活援助事業所

あすか事業報告

1 総括

- ① グループホーム利用者の高齢化、重度化に対応するため、定員 6 人に対し 3 : 1 での職員配置とした。
- ② 建物がバリアフリー構造であるので、車椅子利用者・高齢者・下肢筋力低下利用者に対応ができた。
- ③ 短期入所（ショートステイ）を定員 1 人で併設し、緊急宿泊サービスを提供した。短期入所の経験から、自立への自信がついた。
- ④ 看護師を世話人とした配置し、健康な暮らしへの意識が高まった。
- ④ 健康管理・服薬管理・金銭管理等で生活支援の充実を行った。
朝夕のバイタル測定（血圧・脈拍・体温・体重）、定期薬の手渡し服薬支援により安定した暮らしができた。
- ⑤ 季節の衣類や生活物品計画購入、居室の整理整頓を行い、清潔な暮らしができた。
- ⑥ 夜間勤務者による緊急対応と見守りを含む利用者へのきめ細かな支援によりグループホームでの安心な生活の場を提供できた。
- ⑥ 必要に応じて医療機関への通院同行をして医療との連携を図り健康管理を行った。
- ⑦ 健康を回復し、介護サービス包括型グループホームへの移行もできた。

2 年間利用者数

あすか	定員	延べ利用者数	平均実利用数
日中サービス支援型	6	2,160	6.0
短期入所	1	130	0.6

短期入所利用者 4 名利用

3 障害区分による利用者数

障害支援区分	延利用者数	平均実利用者数	比率 (%)
3	139	0.4	6
4	1,655	4.6	77
5	366	1.0	17
計	2,160	6.0	100

4 地域別利用者数

	津	松阪	尾鷲	伊勢	亀山	志摩	計
人数	5	2	1	1	1	1	11

5 年齢別利用者数

	36 ~ 40	41 ~ 45	46 ~ 50	51 ~ 55	56 ~ 60	61 ~ 65	66~	計
人数			2	1	2	4	2	11

6 職員体制

職名	配置状況
管理者兼サービス管理責任者	1名（常勤）
世話人	2名（常勤） 1名（非常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）
看護職員	1名（非常勤）
夜間支援従事者	5名（非常勤）

7 防災対策

- ① 自動火災警報装置、スプリンクラー、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
- ② 非常用防災用品の備蓄（個人防災グッズ入りリュック）
- ③ 地震避難訓練 6回（内夜間訓練2回）
防火・防災訓練 6回

8 事業所内研修

- ① 新任研修 日中サービス支援型共同生活援助事業事業計画と利用者支援について
- ② 継続研修障害者 コミュニケーションについて
成年後見制度
個人情報保護について

9 苦情解決

苦情 0件
意見 0件

令和元度 「アンダンテ」 事業報告

1. 実施事業内容

(1) 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

- ・地域で暮らす障害者の日中の見守り支援と相談支援
- ・食事、入浴・服薬支援及び必要な人への送迎
- ・余暇活動支援(体操・ティータイム・大正琴・みかん狩り)
- ・地域交流(自治会溝掃除・盆踊り・関係機関文化祭参加)

年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	30	30	28	29	29	31	30	15	30	343
利用延日数	514	503	487	471	458	444	477	458	414	440	368	468	5,500

1日平均利用者 16人

契約市町別

	津	亀山	松阪	玉城	伊勢	志摩	尾鷲	名張	鳥羽	熊野	計
利用者数	31	1	3	1	2	2	1	1	1	1	44

(2) 特定相談事業(計画相談)

- ・津市自立支援協議会本会及びワーキングに企画・参加し、ネットワークが広がった。
- ・計画相談支援をすることで、利用者の地域生活を支援できた。
- ・本人の希望による、他相談支援事業所への移動もあった。
- ・津市障がい者相談支援センターとの連携を行い、困難事例の検討ができた。

・津市 名 他市 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規・更新	8	10	2	10	10	11	7	18	13	11	7	11	118
モニタリング	13	20	12	10	13	4	13	9	5	10	17	14	140

2. 関係機関との連携

(1) 津市地域自立支援協議会

本会会議

津市障害者計画・第5期津市障害者福祉計画策定参画

精神保健福祉ワーキンググループ

(2) 津市精神保健福祉連合会

総会・研修会参加

スポレク大会、当事者と参加

(3) 三重県精神保健福祉会

第44回三重県精神保健福祉大会

甲州東海ブロック研修高山大会参加

みんなネット刈谷大会参加
定期例会・家族研修会への参加

(4)三重県精神保健福祉協議会
精神保健福祉大会への参加

(5)三重県精神保健福祉審議会
会議における意見交換と検討
三重県精神障害者福祉事業所協議連絡協議会への報告
三重県との意見交換会事前打ち合わせと開催

(6)三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会
総会・研修会への参加

(7)津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会
総会・研修会への参加

(8)津地域精神保健福祉連絡協議会
総会・研修会への参加

3. 防火・防災訓練
年1回実施

4. 事業所内研修
(1)新任研修
①日中一時支援事業について(業務と利用者支援)
②リスクマネジメント
③食中毒と感染症対応について
(2)継続研修
①福祉サービスにおけるマニュアルの活用
②障害者虐待防止
③接遇と利用者対応
④管理者研修

5. 苦情解決
苦情 0件

令和元年度「津市精神障がい者相談支援サテライト事業」報告

1 事業の内容

①外来等相談支援

精神障害者及びその家族等に対して、外来・電話・メール等による相談支援
地域の暮らしでの不安や訴えに対する提案や助言

②精神障害者の地域移行支援・地域定着支援のコーディネート業務

精神科病院地域連携担当者との連絡調整
基幹障がい者相談支援センター・地域障害者相談支援センターとの連携
精神障害者地域移行ワーキンググループへの参画
保健・医療機関や障がい福祉サービス事業所との連携
ピアサポーターの活動支援

③社会資源見学会実行委員会の組織運営

社会資源見学会年1回開催
地域の社会資源等の情報提供・活用についての助言
市内の精神科病院及び関係機関調整会議
圏域の障害者機関との連携等

2 総括

- ①様々な利用者から電話相談があったが、6月以降は特定の利用者からの相談がほとんどだった。
- ②サテライト事業への相談等はなかった。
- ③社会資源見学会は関係機関の協力連携により、令和元年10月8日に開催した。退院希望者に地域資源の提供をした。

3 年間利用者数

津市精神障がい者相談支援サテライト事業統計

	内容											計	方法						計
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他		訪問	来所	同行	電話	会議	関係機関	
4月	15	10	45	12	5	7	2	0	6	0	6	108	0	7	0	101	1	0	109
5月	23	4	73	4	6	0	1	1	6	0	4	122	0	15	0	108	5	3	131
6月	19	10	76	6	16	2	0	0	0	0	5	134	1	12	0	130	0	0	143
7月	8	2	87	7	15	0	0	0	1	0	0	120	0	2	0	119	0	0	121
8月	6	1	57	3	5	0	0	1	3	0	0	76	0	2	0	74	0	0	76
9月	8	0	55	3	0	1	0	0	0	0	2	69	2	2	0	63	0	2	69
10月	8	0	38	8	3	2	0	0	3	0	1	63	2	14	0	54	20	0	90
11月	3	0	40	0	0	0	0	0	0	0	1	44	0	0	0	44	0	0	44
12月	2	0	64	1	1	3	0	2	0	0	0	73	0	0	0	73	0	0	73
1月	1	0	51	4	0	0	1	1	0	0	0	58	0	1	0	57	0	0	58
2月	0	0	36	3	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	39	0	0	39
3月	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	51	0	0	51
計	93	27	673	51	51	15	4	5	19	0	19	957	5	55	0	913	26	5	1004

令和元年度 工賃向上報告書

クローバーハウス

1. 概要

主な生産活動内容	パンの製造販売、パンセット仕分け作業、缶詰パンの製造販売、地域企業より部品組立の受託作業
----------	--

○利用者数

定員	20名	延利用者数	250	名
----	-----	-------	-----	---

2. 工賃実績

○工賃総額 9,034,681円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H30	R元	
平均工賃実績額	458円	420円	時給
月額工賃実績額	35,870円	36,139円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①誰でもできる受託作業と単価の高い作業の受託。
- ②5S推進による効率の良い働きやすい職場環境の整備。
- ③クッキー製造機器の導入による大量生産体制。
- ④缶詰パン販売促進のための積極的な営業活動。
- ⑤利用者が共にパン製造に関われる仕組み作り。

具体的な取組み

- ①部品作業受託先事業所の新規開拓に努め、単価の高い作業を受託できた。
- ②ミーティングや部署会議において、現状の売上や販売管理費・原材料費等の状況改善を諮った。
- ③イベント等には1個当たり単価の高い商品の販売を増やした。
- ④津市・松阪市内の高校への昼食用パンの対面販売や、施設への出張販売を行った。
- ⑤研修に参加し、コンサルタントからの提案や助言を受け、クローバーハウス全体で共有した。

課題等

- ①パンの売り上げ金額が年々減少し、パンセットのルート配達も最盛期の半数に落ち込んでいる。
- ②缶詰めパンの販売先開拓をしているが目標に達していない。
- ③パンの製造や販売に利用者さんへ声掛けはしているが、参加への不安が強く特定の人だけになってしまう。

令和元年度 工賃向上報告書

いすず工房

1. 概要

主な生産活動内容	うどん店「いすず亭」での製麺・販売、喫茶「待夢」での接客、弁当給食作業・地域企業より部品組立の受託作業
----------	---

○利用者数

定員	20名	延利用者数	214	名
----	-----	-------	-----	---

2. 工賃実績

○工賃総額 11,792,632 円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H30	R元	
時給実績額	508円	508.4円	時給
月額工賃実績額	49,753円	49,766.7円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ① 弁当事業では昨年度の実績を参考にして、計画的に事業を進めた。(曜日ごとに担当を決めた)
- ② 各作業の担当及びサブ担当者を決め、スムーズな業務遂行に繋げた。
- ③ 待夢のお客様の要望を取り入れランチメニューに変化をつけた。
- ④ 作業場の整理を行った。
- ⑤ 利用者全員がどの作業にも取り組めるよう、作業工程を細分化した。
- ⑥ 作業が途切れないよう計画的に受注した。

具体的な取組み

- ① 顧客に満足していただけるよう、季節感のある弁当を提供した。
- ② 職場環境を効率よく働けるよう整えた。
- ③ 給食メニューについて、給食委員会以外の職員にもアンケートの協力を依頼した。
- ④ 受託作業の検査等で、作業種目毎に分担した。
- ⑤ 作業工程を、写真やマニュアルの活用で分かりやすくした。

課題等

- ① 利用者一人ひとり家族やグループホーム等と連携を密にし、体調管理と暮らしの支援を行う。
- ② 作業場が手狭なため、利用者・職員の安全確保のために常に5Sを推進する。
- ③ 食品表示への対策。原価計算の見直し。
- ④ 利用者の高齢化による作業の見直し。
- ⑤ 高齢者デイケアの給食提供のマニュアル化と人員体制を整える。